

二次交通対策に係る調査事例

カテゴリー	平成29年度 調査事例					平成30年度 調査事例(未掲載)		
	公共交通機関	公共交通機関、観光バス、宿泊施設	公共交通機関	公共交通機関	公共交通機関	公共交通機関	公共交通機関	公共交通機関
名称	西武電鉄の取り組み	東北北海道地域二次交通整備事業(実証実験段階)	十勝地域 日帰り路線バスパック	八戸 わくわく♪バスパック	沖縄路線バス周遊バス券	島しょ部の二次交通取り組み事例(佐渡)	観光集中地域の二次交通の取り組み(京都市内)	地域鉄道とDMOの2次交通連携の取り組み
開始時期	2013年	2016年	2017年8月	2009年	2017年8月	2015年		
運営主体	西武鉄道株式会社	プライムロード東北北海道推進協議会(事務局 ひがし北海道自然への道DMO)	十勝二次交通活性化推進協議会(事務局 十勝バス)	八戸市	沖縄路線観光活用戦略合議体(事務局 JTB沖縄)	佐渡市	京都市観光局	海の京都DMO
連携組織	西武鉄道、東武鉄道、東京メトロ、東急東横、横浜高速みなとみらい	航空会社(JAL、ANA、AIRDO)、阿寒観光協会まちづくり推進機構、東北北海道地区自治体	バス事業者(十勝バス、柘植バス、毎日交通)、タクシー事業者	八戸市、交通事業者(市営バス・南部バス)	本島内路線バス事業者(琉球バス、那覇バス、沖縄バス、東陽バス)、沖縄都市モノレール、JTB沖縄	新潟交通	京都市交通局(バス、地下鉄)	海の京都DMO、丹後鉄道
事業費・利用者数等	年間360万人利用		年間約6,000名		月800枚前後	年間4,000枚	月7万枚	観光列車年間約6,000名
起点(駅、空港)	西武新宿、西武池袋駅	新千歳空港、釧路空港、女満別空港	JR北海道 帯広駅	JR東日本 八戸駅	那覇空港	両津港	京都駅	宮津駅、豊岡駅
料金	通常区間により設定 西武レストラン列車@20,000円	2150円(釧路空港～阿寒温泉)	池田ワイン城見学コース 大人@1,400円 小人@800円	酒蔵見学バスパック@800円など	2,500円(一日周遊券)	一日バスフリーパス 大人1,500円 小人750円	地下鉄・バス一日共通券900円	
運行本数	イベント列車は、週末のみ	1時間～2時間に1本	10分～20分に1本	15分～30分	20分～30分に1本	20分～30分に1本	10分～15分に1本	観光列車一日2便(週末限定)
二次交通手段	鉄道	バス	バス、タクシー	バス	バス、モノレール	バス	バス、地下鉄	バス、鉄道
情報提供(認知度)	西武線各駅案内所	空港の観光案内所	帯広駅観光案内所等での告知	JR東日本 八戸駅での告知	空港、市内観光案内所での告知	佐渡汽船観光案内所等	JR京都駅、バスターミナル案内所	豊岡駅観光案内所 宮津駅観光案内所
特徴	・5社相互直通運転による広域観光客誘致の取り組み ・訪日客誘客のための取り組み ・多様なイベント列車の運行	・東北北海道地区交通事業者との連携 ・東北北海道地区地域自治体との連携 ・北海道観光振興機構が支援	・競合するバス会社、タクシー会社が連携 ・地域観光事業者との連携し、割引制度あり	・市営バスと民営バスの連携に自治体が積極的に関与 公共交通を活かしたまちづくりの推進が、旅行者の利便性向上にも寄与。 ・市民利用の需要創出と旅行者の利便性向上の両方をにらんだ路線バスパックで新規需要を創出	・本島内路線バス事業者(琉球バス、那覇バス、沖縄バス、東陽バス) ・競合するバス会社が連携 ・行政ではなく旅行会社が仲介役となる ・多言語対応	・生活路線であるバスを観光客の足として活用する取り組み ・佐渡汽船と連携して、バスの運行時間を設定	・京都市内のバスの利用を分散化するために市営地下鉄との共通券の販売	・インバウンド利用データをマーケティング活用するためにDMOとの連携 ・魅力ある観光列車により観光客を誘致する試み ※ICT活用事例 別紙2-4、2-5